

新発想!!

ハンドローラーシューター #1・#2

壁締め・急勾配などに最適!!
これは便利!!



#2
2番機3段階カム方式採用!

アルミニウム使用の驚きの軽さ!!

足高調整機能付!!
(ハゼ高15mm~35mm)



縮めている途中で「ガキヤ!」で簡単に取外し可能!!

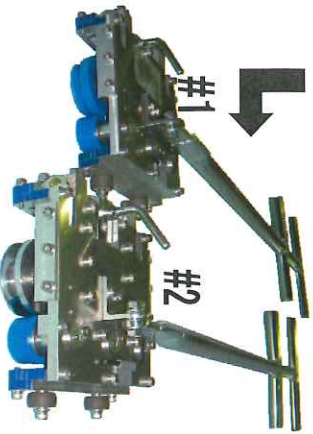
ガキヤ!

※写真とは、1番機で
ございます。

長柄を付けて屋根締めもOK!!



楽!!



軽量・コンパクトで持ち運びも楽々!!

UGHIDA

ライオン製法・板金機械・工具総合メーカー

内田機械工業株式会社

本社・工場 北海道北広島市大曲工業団地1丁目5-8

TEL: 011-377-7050

FAX: 011-377-7053

UGHIDA

《ハンドローラーシューター手順例》

1番機握りハンドルタイプ	2番機長柄ハンドルタイプ	使用手順
		<p>①当縮機を使用する前に締め始めだけ手締めをかけます。 次に車輪の足の高さをハゼの高さに合わせ、カムを解放した状態にして、締めハゼの方向に合わせてセットします。</p> <p>②カムのレバーを縮機の中心側に倒し仕込んでハゼをくわえ込みます。 縮機のかかっていないところでは決して行わないで下さい。無理に倒し込もうとすると故障の原因となります。</p> <p>③縮機をかけていきます。 壁締めであれば上から下へおろしていくと締めやすいです。 屋根締めであれば「手前に引いて、押し出す」という動きで勢いをつけながら締めていきます。</p> <p>④縮機を取り外します。 カムのレバーを中心側から外側に開くとローラーフレームがスライドレバーから取り外すことができます。</p>

2番機3段階カム方式採用!!

締め加減を「1(強)」「2(中)」「3(弱)」の3パターンご用意しました。

現場の状況に応じて使い分けてご使用ください。

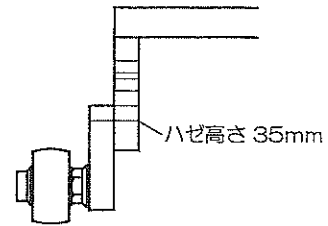
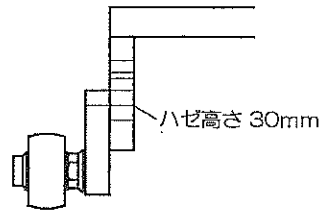
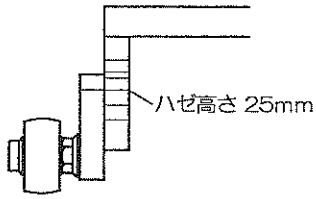
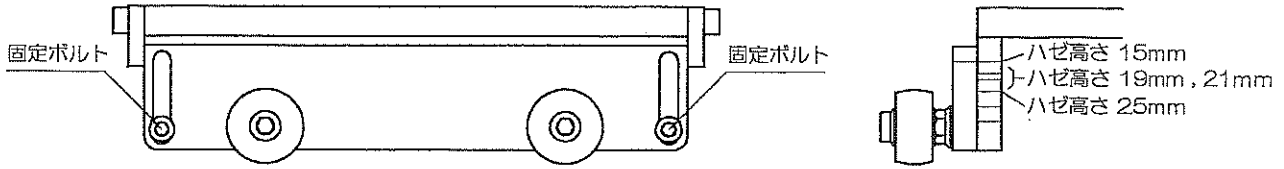


- 各ローラーは、4mm六角レンチにて簡単に取外し可能で、お客様で容易に交換することができます。
- 足の高さは、ハゼ高15mmから35mmまで対応。**ハンドルタイプは付属工具にて付け替え下さい。**
- カム部・スライド部や各駆動箇所には定期的に油やグリスを入れてください。

《高さ調整》

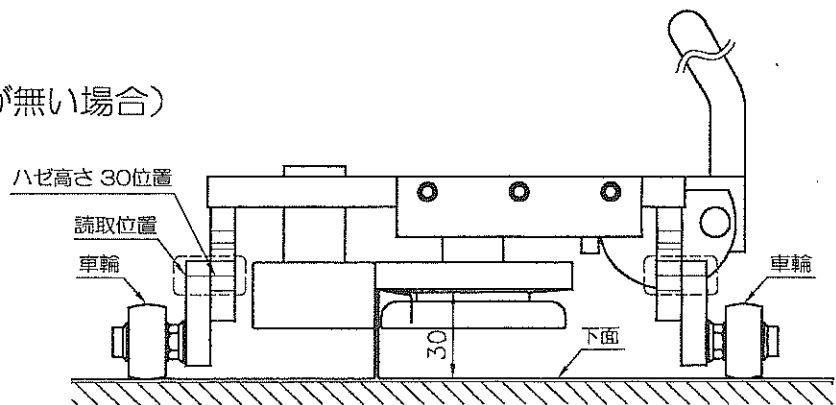
固定ボルトを緩め、左右の車輪の高さを施工する成型板のハゼの高さに合わせて下さい。

ハゼ高さ 15mmの場合



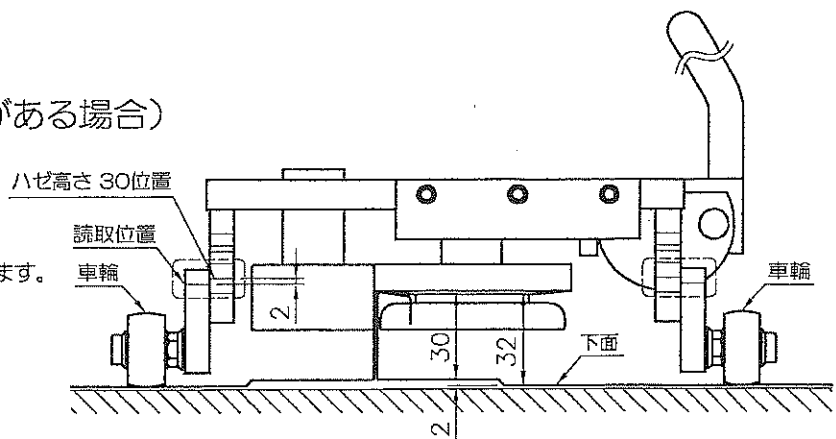
例1：ハゼ高さ 30mm（ハゼ付近にリブが無い場合）

下面からハゼの頂点まで30mmですので、
車輪の取付位置は、30mmの位置に合わせてます。



例2：ハゼ高さ 30mm（ハゼ付近にリブがある場合）

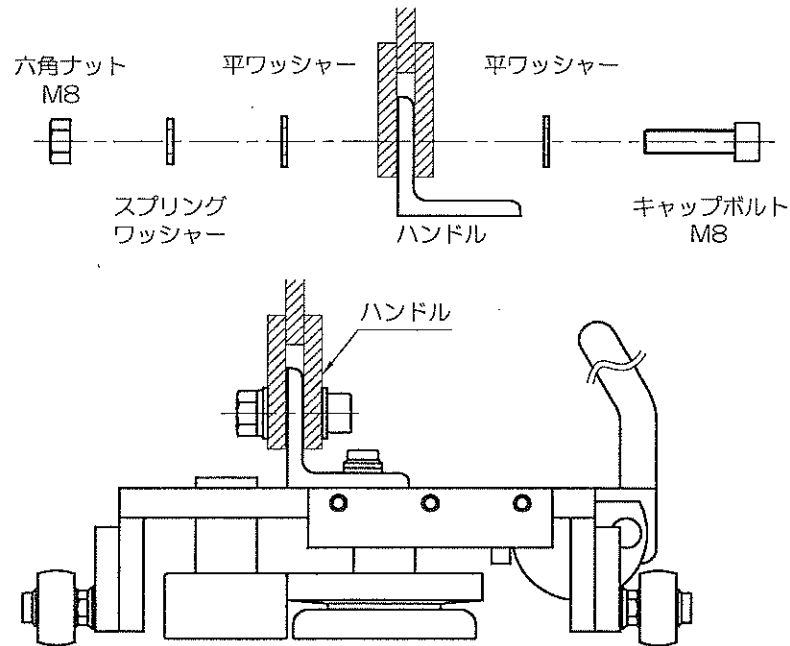
仮にハゼ付近に2mmの高さのリブがある場合、
下面からハゼの頂点まで、
 $30\text{mm (ハゼ高)} + 2\text{mm (リブ)} = 32\text{mm}$ ですので、
車輪の読取位置を、30mmの位置より2mm下げて合わせます。



※車輪の高さは、実際の成型板の『下面からハゼ頂点の高さ』に合わせて下さい。
各種成型板に合わせて、車輪の高さの調整が必要となります。

《長柄ハンドルの組み立て》

長柄ハンドルを取り付ける場合は、図のように組み立てて下さい。



※長柄ハンドル金具は、平ワッシャーを入れて取り付けして下さい。

